



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成28年 1月19日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ タケベチヨウデントウゲイノウデンショウホゾンカイ

団体名 建部町伝統芸能伝承保存会

所在地 [Redacted]

連絡先 [Redacted]

フリガナ ホンダ ヨシアキ

代表者氏名 会長 本田 義章 [Redacted]

※. 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。  
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 <input type="radio"/> イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="radio"/> オ その他
事業名称	建部地域伝統芸能伝承事業
事業実施区域(小学校区)	北区建部町 建部小学校区 竹枝小学校区 福渡小学校区
事業実施回数	新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続    2回目(27年度から)継続
課題	<p>本会は、建部地域の14団体で構成しているが、各団体に目を向けてみると、年々継承者(演舞者)が減っている状況にある。ここ数年で女人禁制を解除して、<u>全ての団体で女兒(女性)が参画した。</u></p> <p>建部地域を人口統計で見ると、平成27年1月末現在、年少人口8.76%、生産年齢人口49.71%、高齢者人口41.53%となっており、<u>少子高齢化への対応が課題</u>ではあるが、限られた中で如何に伝統芸能を継承していくかが鍵となっている。転出者はもちろんであるが、地域外の方々の参画も必要な時になっている。</p>
事業の目的・目標	<p>本会は、建部地域の各地区で伝承される伝統芸能について、保存と伝承を推進するための活動を行っているところである。</p> <p>建部地域の神楽は、県中央部特有の獅子神楽で、古いものでは江戸時代中期より継承されている神楽もある。棒遣いは、古武道竹内流の棒術の所作を取り入れられたとも言われている。</p> <p>建部地域は少子高齢化に加え、人口流出による集落機能が低下した中山間地域ではあるが、この素晴らしい伝統芸能を後世に伝えていくために、<u>子どもたちへの指導や地域内外に向けた広報活動</u>などを行うことを目的とする。</p>

事業の内容	<p>【伝承活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 構成団体ごとで・子どもたちへの指導、指導者の育成。</li> <li>* 転出者(特に経験者)へ参画を呼びかけする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・神楽・棒遣いは、一人ではできないので、とにかく人員確保が先決。</li> </ul> </li> </ul> <p>【広報活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域内外で開催されるイベント等へ積極的に出演しPRする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで秋祭りだけの発表を、もう少し広範囲に展開する。はっぽね桜まつり、建部町納涼花火大会、建部町文化祭、御津獅子舞フェスタ、桃太郎まつりなど。</li> </ul> </li> <li>* ソーシャルメディアを利活用した広報戦略によりPRする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ「たけべ新聞」をメインにして、全国へ向けて情報発</li> </ul> </li> </ul>
期待される成果	<p>【伝承活動】</p> <p>子どもたちが参加するためには、「楽しい」とか「興味」とかが必要となる。発表の場づくりも必要とされる。子どもたちが大人になっても参加し続けることで、<u>継続した伝承活動</u>が図れる。また、一人でも多くの子どもたちが参加することで、<u>将来に向けて指導者候補が確保</u>できる。</p> <p>【広報活動】</p> <p>現在、県指定重要無形民俗文化財が33件あり、このうち2件が建部地域にある。昭和32年指定の志呂神社御供と平成6年指定の建部祭りである。・どちらも神楽と棒遣いが奉納されているが、地域外へは情報発信されておらず、来訪者(観光客)はほとんどいない。広報活動することで、<u>来訪者増はもちろんのこと、建部地域への関心度アップ</u>が図れ、ひいては<u>都市農村交流や移住・定住のきっかけ</u>となれば、素晴らしい活動として継続できる。</p>
企画などの工夫	<p>こういった取組は、既に御津地域で「獅子舞継承活動事業」が実施されているが、歴史的にも古くから伝承されている建部地域も同様な活動と、かつ建部地域ならではの先進的な活動を行うことで、<u>お互いの地域での相乗効果</u>が図れる。</p> <p>また、建部が御津へ、御津が建部のイベント等へ出演することで、お互いの演舞の善し悪しが確認できるなど、伝承活動にも取り入れられる。</p> <p>最も重要なことは「<u>情報発信</u>」であると思う。ソーシャルメディアを利活用した 広報活動によって、全国どこでも誰もが閲覧できるし、閲覧者との情報共有を図ることが出来る。</p>
事業の情報公開	<p>本事業においては、伝承活動と併せて広報活動を行うこととしている。4月に立ち上がる「たけべ新聞」を通して「建部地域の神楽・棒遣い(仮称)」のページを設けて発信する。また、市や県など行政のホームページとも 相互リンクを推進する。</p>

<p>次年度以降の予定</p>	<p>[28年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①構成団体ごとで子どもたちに指導</li> <li>②地域内外のイベント等への出演(まずは出演交渉から始める)</li> <li>③ホームページ“たけべ新聞”に1つのサイトを設けて発信(7月頃から)</li> <li>④Facebookページ、YouTubeチャンネルの登録(ホームページに先行して行う)</li> <li>⑤練習風景見学ツアーなど都市農村交流事業の検討</li> </ul> <p>[29年度以降]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①構成団体ごとで子どもたちに指導</li> <li>②地域内外のイベント等への出演</li> <li>③ホームページ“たけべ新聞”のサイトから適時情報発信</li> <li>④Facebookページ、YouTubeチャンネルで情報発信</li> <li>⑤練習風景見学ツアーなど都市農村交流事業の実施</li> </ul>
<p>その他PRしたい点</p>	<p>古来より引き継がれてきた伝統文化、そして未来へ引き継いでいく伝統文化は、地域地域によって異なっており、その継承方法も千差万別である。</p> <p>先にも記しましたが、建部地域だけでなく、御津地域や岡山市の他地域で伝承されている伝統芸能とのネットワークを広げ、いつの日か「岡山市伝統芸能大会」が企画されることを願うし、積極的に呼びかけて行きたいと思う。</p>

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
岡山市補助金	400,000	414,000	
実施団体負担金	130,000	408,000	@34,000×12団体=408,000円
参加負担金			
協賛金			
寄附、他収入	1,000	6,000	
計	531,000	828,000	

◆ 支 出

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
消耗品費	180,000	308,000	*草鞋足袋 @1,500×110人=165,000円 *足袋 @700×70人=49,000円 *棒代 @3,000円×20本=60,000円 *太鼓バチ、鐘バチ、布等 20,000円 *事務用品(封筒、用紙、インク等) 14,000円
食糧費	23,000	40,800	会議飲み物 @150×16人×4回=9,600円 練習飲み物 @130×20人×12団体=31,200円
印刷製本費	0		
燃料費	0	5,000	ガソリン代 *郷土芸能大会 @1,000×5台=5,000円
光熱水費	0		
通信運搬費	5,000	8,000	会議・連絡調整郵送料 8,000円
広告料	0		
手数料	76,000	125,000	*クリーニング代 @700×50人=35,000円 " @1,400×50人=70,000円 " (小物)@500円×40=20,000円
使用料	3,300	5,200	練習会場使用料 車使用料(郷土芸能大会)
原材料費	50,000	100,000	リボン代、布代、衣装仕立て代等

委託料	0		
報償費	190,000	226,000	指導者謝金 @18,000(18回)×12団体=216,000円 広報PR謝金(年間) 10,000円
保険料	2,700	10,000	損害保険 @2,000×5団体=10,000円
旅費	0	0	
計	530,000	828,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)(補助金額が20万円を越える場合のみ)

補助金の概算払いを	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない
-----------	--	--------------------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

各専門部会で実施することから活動が多岐にわたるため。また、この活動の中で実施するイベント(プログラム)の諸準備に係る経費が必要なため。

注① : 前年度決算額が確定していない場合は、見込み額を記入してください。

注② : 支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場  
使 用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。

事業スケジュール

月日	活動内容
4月	役員会 はっぼね祭
5月	総会
6月	
7月	練習準備会議
8月	建部町文化祭事前打合せ会 練習・指導開始
9月	
10月	建部町文化祭事前打合せ会 秋祭り
11月	建部町文化祭 地区別反省会
12月	建部町文化祭反省会 役員会
1月	臨時総会
2月	会計監査
3月	